

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-029)

1 キリバス大統領は、(キリバス大統領への不信任決議案を野党が提出する動きがある中で) 突然の国会閉会への政府の関与を否定し、「キリバスは民主主義国家である」と反論

[原文](#)

(19 Nov 2019, Radio NZ)

2 パラオの天然資源・環境・観光相は、太平洋財政・金融会議 (The Pacific Ocean Finance Conference) の基調講演で、太平洋島嶼国の住民が生存し、文化を守るために海洋は不可欠なものであり、長期の財政戦略が不可欠であるとし、自国の「Pristine Paradise Environment Fund」を紹介 (同基金 (パラオ訪問者から 100US ドルを徴収し、同国の国家海洋保護区等の政策実行を支援する基金) は、2018 年に開始して以来、910 万 US ドルになった一方、旅行者数の減少による影響を受けやすい点を紹介)

[原文](#)

(19 November 2019, Island Times)

[原文](#)

(19 November 2019, Island Times)

※以下の Island Times は、時間帯によってアクセスできない場合がございます。
その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

【マーシャル諸島国会議員選挙】

3 マーシャル諸島のヒルダ大統領は、国会議員選挙に当たり、国民にこれまでの 4 年間の経済成長等の成果を強調し、現政権の続投への支持を求める

[原文](#)

(19 November 2019, Island Times)

4 マーシャル諸島の国会議員選挙の結果により、中国との関係を重視する野党が政権を執った場合、現在の台湾、アメリカとの外交関係を中国に切り替える可能性がある (新たな法律により、マーシャル諸島の 44000 名の有権者のうち、アメリカに居住する 15000 名が投票不可)。アメリカ政府高官は「パラオとマーシャル諸島は、台湾と樹立している国交に関して、中国からのすさまじい圧力を受けている」と発言

[原文](#)

(18 November 2019, Taiwan News)

[関連記事](#)

(27 September 2019, Focus Taiwan)

5 11 月 23 日発表のマーシャル諸島の非公式の選挙結果（発表後 2 週間の間に、候補者は、再集計のための請願書提出や結果を争うことが法律上可能。）、野党が議会（全 33 議席）の過半数となる 17 議席を獲得する一方、現政権の 3 名の閣僚が落選する可能性（来年 1 月 6 日召集の議会で、大統領が選出される）

[原文](#)

(25 November 2019, Radio NZ)

[原文](#)

(20 November 2019, Radio NZ)